

北教だより

令和6年度「中学生・高校生のための教職セミナー」を開催しました

■参集・オンライン「ハイブリット型」での開催

11月9日(土)、県北教育事務所を会場に、参集(27名)・リモート(8名)のハイブリット型で「中学生・高校生のための教職セミナー」を実施しました。本セミナーの参加を積極的に勧めてくださった校長先生をはじめ、各中学校の先生方、さらに協力者として教職の魅力を楽しく語ってくださった20名の先生方(小学校教諭6名、中学校教諭6名、高等学校教諭4名、特別支援学校教諭2名、養護教諭1名、栄養教諭1名)に心より感謝いたします。

開会式では、協力者の先生方が自己紹介をしたり、緊張をほぐすためにアイスブレイクを行ったりしました。グループトークでは、参集とオンラインに分かれ、「教師を目指そうと思った理由」や「仕事のやりがいや大変なこと」など4つのテーマをもとに、熱心な話し合いが行われました。

最後に、生徒同士でグループトークを振り返り、互いの考えを伝え合う時間を設けました。各自が進路についての思いを語ることで、初対面であっても悩みを共有できたり励まし合えたりと、有意義な時間を過ごすことができました。本セミナーが生徒の進路選択のきっかけとなれば幸いです。

～教職セミナーの様子を紹介～



開会式の様子



アイスブレイクの様子



グループトークの様子①



グループトークの様子②



オンラインの様子



生徒の感想発表の様子

【参加生徒の感想から】(抜粋)

- ・たくさんの先生たちのお話や他校の生徒の意見を聞いて考えが深まり、良い経験になった。
- ・教師になりたいという夢はもともとあったけど、先生方に実際に質問をしているいろいろなことが聞けて、より一層努力しようと思った。
- ・教職員になるのは大変だけど、その分やりがいがあるし、生徒の成長を見られるということがとても良いなと思った。未来についてよく考えることができた。
- ・今まで知らなかったことが知れてすごく勉強になった。職業選択の幅が広がった。

【協力者の先生方の感想から】(抜粋)

- ・教師を志している生徒たちと交流して、今まで以上に教師という職業に誇りや責任をもとうと改めて思った。
- ・中高生たちの疑問に答えることで、自分自身を見つめ直すきっかけになった。また、中高生たちのキラキラした表情を見て、教員の魅力をもっとたくさん子どもたちに知って欲しいと思った。
- ・セミナーをきっかけに、今後の進路について見つめ直し、数年後一緒に働く仲間になったらうれしいなと思った。